

アウトカム評価の考え方

システム開発中

ランダム化比較試験（RCT）などによる検証

制度化された後

RCTやモデル事業と同じプロセスになっているか？

時系列分析：制度導入の前後で変化したか？

プロセス・アウトプットとアウトカムとの相関

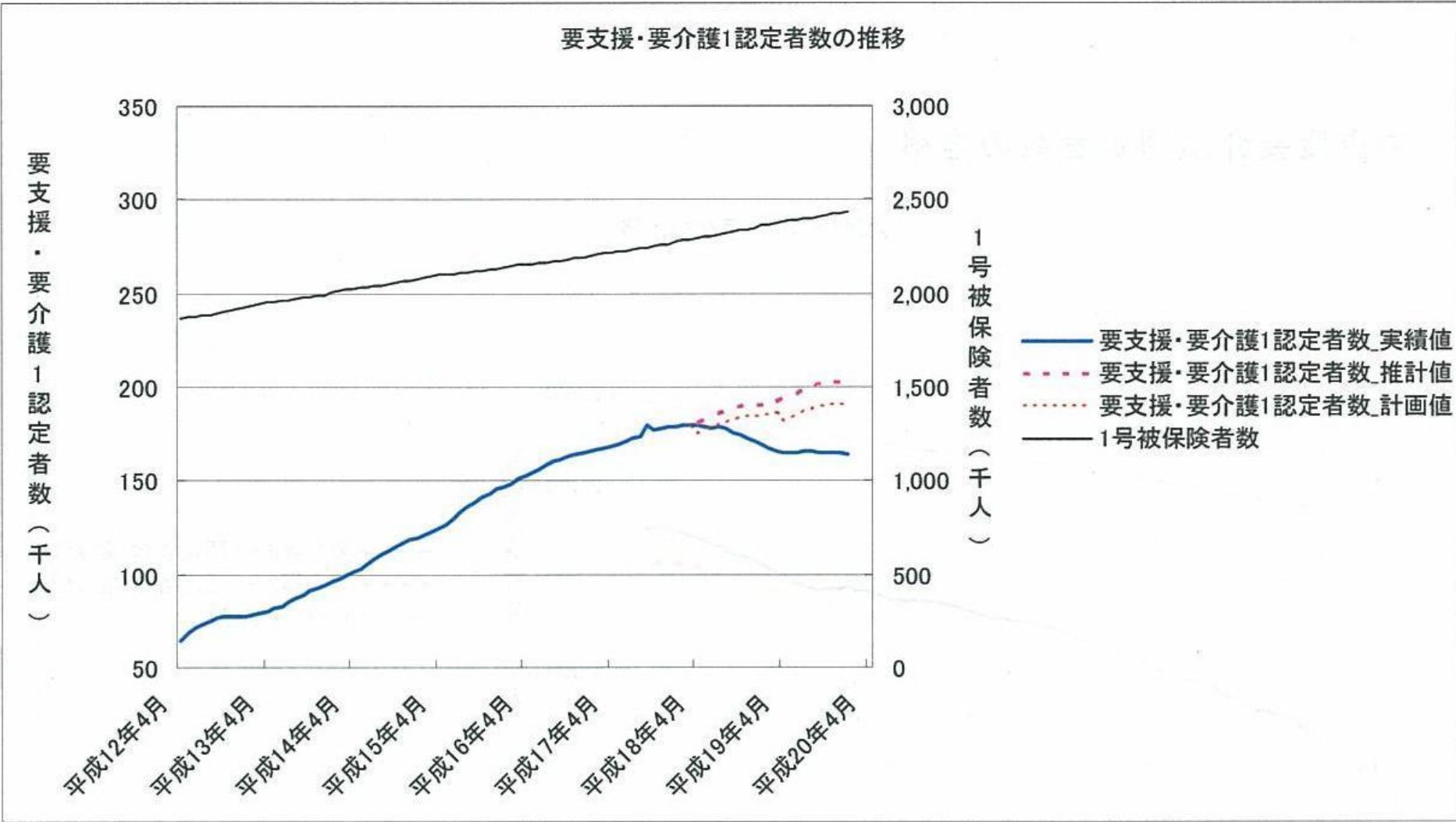
時系列分析

制度導入の前後で、要介護認定者（率）の推移は変化したか？

東京都

和光市

軽度要介護認定者数の推移



東京都における要支援・要介護1認定者数の推移

東京都の実績(平成20年1月の軽度認定者数)

推計値 202,696人(これまでの推移から外挿)

↓ - 38,796人(19.1% 減)

実績値 163,900人

↑ - 26,771人(13.2% 減)

計画値 190,671人(介護予防導入時の計画)

介護予防効果のエビデンス！

効果あるサービスを広範に展開することの重要性

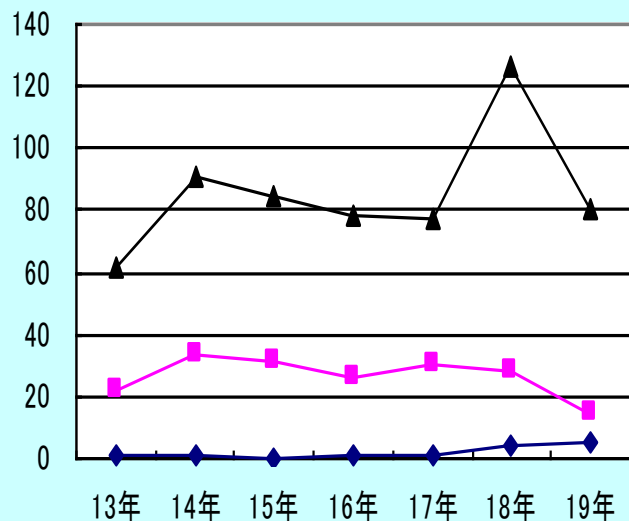
総合的政策評価(実績例)

13年度から19年度までの軽度認定者減少推移
(認定者数: ライフステージ)

和光市

要支援

認定者数

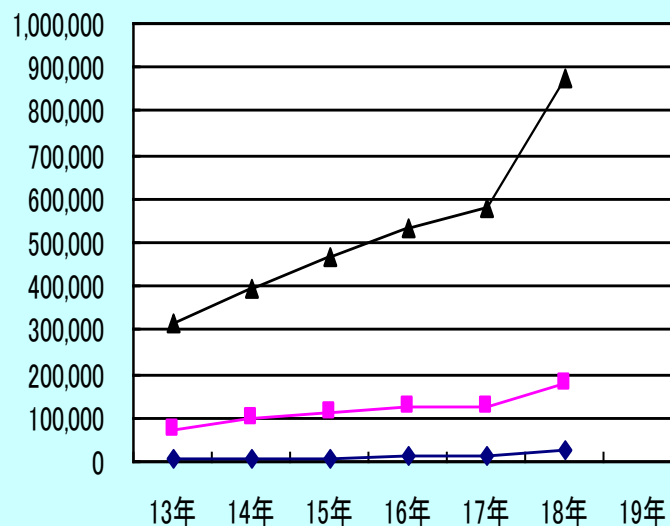


◆ 40~64歳 ■ 前期高齢者 ▲ 後期高齢者

全国

要支援

認定者数



◆ 40~64歳 ■ 前期高齢者 ▲ 後期高齢者

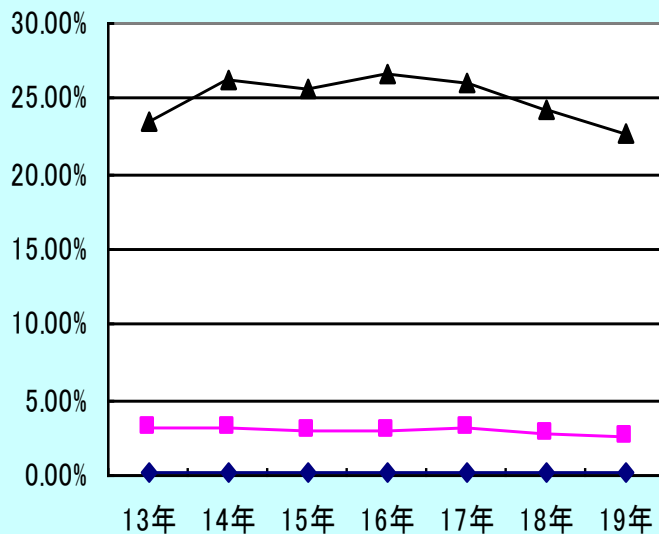
総合的政策評価(実績例)

13年度から19年度までのライフステージ別認定率

和光市

要支援～要介護5合計

認定率

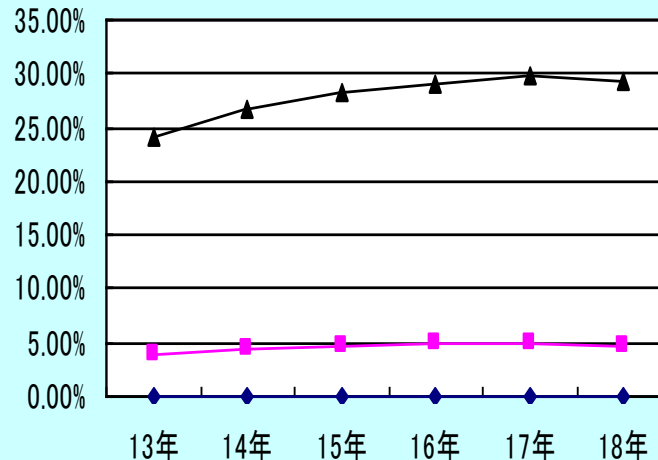


◆ 40～64歳 ■ 前期高齢者 ▲ 後期高齢者

全国

要支援～要介護5合計

認定率



◆ 40～64歳 ■ 前期高齢者 ▲ 後期高齢者

アウトカム評価の指標

特定高齢者の予後（継続・終了など）

主観的健康感の変化

基本チェックリストの変化

要支援・要介護認定への移行

年次推移の検討

市区町村の間で比較、事業所の間で比較

事業量・プロセスとの相関

軽度認定者率、軽度新規認定者率と各指標との相関係数

	軽度認定者率	軽度新規認定者率
基本健康診査受診率	0.064	-0.018
特定高齢者決定者率	-0.102	0.082
特定高齢者候補者率	-0.035	0.057
特定高齢者の転帰による改善率	0.166	0.146
ケアプランの転帰による改善率	0.12	0.023
基本チェックリスト改善率	-.320*	-.315*
主観的健康感改善率	-.435**	-.427**
通所型事業1000人あたりの実施回数	0.115	0.014
通所型栄養改善事業参加率	-.337**	0.014
通所型事業参加率	0.19	0.016
普及啓発相談会等事業参加率	-.367**	-0.141
普及啓発その他事業参加率	-.257*	-0.2

Nは区市町村数

** p<0.01 * p<0.05

基本チェックリストの予後予測能